2027年３月期　第２四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年11月11日

上場会社名　　大栄環境株式会社　　上場取引所　東
コード番号　　9336　　ＵＲＬ　https://www.dinsgr.co.jp/
代表者　　（役職名）代表取締役社長　　（氏名）下田　守彦
問合せ先責任者　（役職名）常務執行役員総合政策本部長　（氏名）大塚　健護　　ＴＥＬ　078-857-6600

半期報告書提出予定日　　2026年11月11日　　配当支払開始予定日　2026年12月７日
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無　　：有　（機関投資家・アナリスト）

（百万円未満切捨て）

１．2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績（2026年４月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年３月期中間期	48,988	22.5	11,548	29.3	11,302	25.0	7,208	18.6
2026年３月期中間期	39,976	4.8	8,932	△12.1	9,042	△11.1	6,078	△8.4

（注）包括利益　2027年３月期中間期　7,600百万円（27.8%）　2026年３月期中間期　5,948百万円（△10.8%）

	１株当たり中間純利益	潜在株式調整後１株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年３月期中間期	72.18	―
2026年３月期中間期	61.70	―

（注）潜在株式調整後１株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年３月期中間期	267,557	117,867	42.8
2026年３月期	260,191	114,064	42.2

（参考）自己資本　2027年３月期中間期　114,438百万円　2026年３月期　109,832百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年３月期	―	24.50	―	28.50	53.00
2027年３月期	―	27.50			
2027年３月期（予想）			―	27.50	55.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

３．2027年３月期の連結業績予想（2026年４月１日～2027年３月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	96,500	9.8	24,300	9.5	23,100	3.0	16,400	3.5	164.25

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※　注記事項

（１）当中間期における連結範囲の重要な変更：無

（２）中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　：無
②　①以外の会計方針の変更　：無
③　会計上の見積りの変更　：無
④　修正再表示　：無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年３月期中間期	99,892,900株	2026年３月期	99,892,900株
②　期末自己株式数	2027年３月期中間期	18,163株	2026年３月期	44,976株
③　期中平均株式数（中間期）	2027年３月期中間期	99,859,188株	2026年３月期中間期	98,511,077株

※　第２四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法）

決算補足説明資料はＴＤｎｅｔ及び当社ウェブサイトで同日開示しております。

○添付資料の目次

１．当中間決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）キャッシュ・フローに関する説明 …… 4
（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．中間連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）中間連結貸借対照表 …… 5
（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書 …… 7
中間連結損益計算書 …… 7
中間連結包括利益計算書 …… 8
（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書 …… 9
（４）中間連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
（継続企業の前提に関する注記） …… 10
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 10
（セグメント情報等の注記） …… 10

１．当中間決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、中東情勢に伴うコスト上昇及び長期金利の上昇等による企業収益や設備投資への影響に加えて、豪雨等の自然災害による経済活動への影響が懸念される不透明な状況が続きました。一方、雇用・所得環境の改善及び政府が注力する成長投資や各種政策の効果への期待感のもと内需の持ち直しが下支えとなり、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

このような状況のもと、当社グループは、2025年11月に連結子会社化した株式会社スカラベサクレによる廃棄物の受入拡大に加えて、関西エリアを中心としたインフラ開発案件の継続受注及びパートナー企業や自治体との資源循環システムの高度化推進に注力した結果、増収となりました。

利益面に関しては、減価償却費や人件費等の増加があったものの、最終処分場での受入量増加による利益の押し上げ等の結果、増益となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の業績は、次のとおりとなりました。

（単位：百万円）

	2026年３月期 中間連結会計期間	2027年３月期 中間連結会計期間	増減額	増減率
売上高	39,976	48,988	9,011	22.5%
営業利益	8,932	11,548	2,616	29.3%
営業利益率	22.3%	23.6%	1.3pt	－
経常利益	9,042	11,302	2,260	25.0%
親会社株主に帰属する中間純利益	6,078	7,208	1,130	18.6%
EBITDA	12,794	18,219	5,425	42.4%
EBITDAマージン	32.0%	37.2%	5.2pt	－

（注）１．EBITDA＝営業利益＋減価償却費（営業外費用除く）＋のれん償却額
２．EBITDAマージン＝EBITDA／売上高

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

（環境関連事業）

（単位：百万円）

	2026年３月期 中間連結会計期間	2027年３月期 中間連結会計期間	増減額	増減率
売上高	38,812	47,530	8,718	22.5%
セグメント利益	9,134	11,626	2,492	27.3%

「廃棄物処理・資源循環」において、廃棄物受入量は1,381千トン（前年同期比28.6%増）となりました。連結子会社の株式会社スカラベサクレによる九州エリアでの廃棄物の受入量増加やインフラ開発案件の継続受注等により、増収となりました。

「土壌浄化」において、汚染土壌受入量は306千トン（前年同期比112.8%増）となりました。連結子会社の株式会社ジオレ・ジャパンにおいて2025年９月に新たに稼働開始した汚染土壌処理施設での受入拡大等により、増収となりました。

「施設建設・運営管理」において、2026年１月に連結子会社化した株式会社コウキの売上計上及び連結子会社の株式会社海成の解体工事受注増により増収となりました。

利益面においては、最終処分場での廃棄物の受入拡大等による利益の押し上げにより、増益となりました。

（その他）

（単位：百万円）

	2026年３月期 中間連結会計期間	2027年３月期 中間連結会計期間	増減額	増減率
売上高	1,164	1,457	292	25.1%
セグメント損失（△）	△162	△43	118	―

売上高においては、「アルミペレット」の販売単価が上昇したことにより増収となりました。

利益面においては、「アルミペレット」の生産量の適正化による製造コストの抑制及び販売単価の上昇により収益性は向上したものの、依然としてセグメント損失となっております。

（２）財政状態に関する説明

（単位：百万円）

	2026年３月期 連結会計年度	2027年３月期 中間連結会計期間	増減額	増減率
資産	260,191	267,557	7,365	2.8%
負債	146,127	149,689	3,562	2.4%
純資産	114,064	117,867	3,802	3.3%
自己資本比率	42.2%	42.8%	0.6pt	―

（資産の部）

当中間連結会計期間における総資産は267,557百万円（前連結会計年度末比7,365百万円の増加）となりました。

流動資産は79,470百万円（前連結会計年度末比4,414百万円の増加）となりました。これは主に、現金及び預金が前連結会計年度末比5,614百万円増加したことによります。

固定資産は188,086百万円（前連結会計年度末比2,950百万円の増加）となりました。これは主に、有形固定資産が前連結会計年度末比4,041百万円増加、無形固定資産が前連結会計年度末比1,172百万円減少したことによります。有形固定資産の増加は主に、連結子会社である相生エコサービス株式会社の相生地域エネルギーセンター建設工事、当社西宮リサイクルセンターの焼却施設建設工事及び最終処分場（現 当社いわき事業所）の取得等により建設仮勘定が6,478百万円増加した一方で、最終処分場での埋立進捗により最終処分場が1,600百万円減少したことによります。無形固定資産の減少は主に、2025年11月に連結子会社化した株式会社スカラベサクレののれん償却等によりのれんが1,133百万円減少したこと等によります。

（負債の部）

当中間連結会計期間における負債は149,689百万円（前連結会計年度末比3,562百万円の増加）となりました。

流動負債は34,727百万円（前連結会計年度末比56百万円の減少）となりました。

固定負債は114,961百万円（前連結会計年度末比3,618百万円の増加）となりました。これは主に、新規借入等により長期借入金が4,213百万円増加したことによります。

（純資産の部）

当中間連結会計期間における純資産は117,867百万円（前連結会計年度末比3,802百万円の増加）となりました。

株主資本は112,600百万円（前連結会計年度末比4,465百万円の増加）となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上等により利益剰余金が4,362百万円増加したことによります。

（３）キャッシュ・フローに関する説明

（単位：百万円）

	2026年３月期 中間連結会計期間	2027年３月期 中間連結会計期間	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,397	14,950	4,552
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,737	△10,654	△1,916
フリー・キャッシュ・フロー	1,660	4,296	2,636
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,623	587	△7,035

（注）フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

主な収入項目は、税金等調整前中間純利益が11,830百万円、減価償却費が5,597百万円及びのれん償却額が1,222百万円となります。

主な支出項目は、法人税等の支払額が4,127百万円となります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出が10,422百万円となります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

主な収入項目は、長期借入れによる収入が14,000百万円となります。

主な支出項目は、長期借入金の返済による支出が9,706百万円及び配当金の支払額が2,848百万円となります。

以上の結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて4,880百万円増加し、59,321百万円（前連結会計年度末54,440百万円）となりました。

（４）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年３月期の連結業績予想につきましては、2026年５月14日に公表いたしました通期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日（2026年11月11日）公表いたしました「2027年３月期通期連結業績予想の一部修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．中間連結財務諸表及び主な注記

（１）中間連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	52,298	57,912
受取手形及び売掛金	14,262	13,939
有価証券	3,488	3,520
製品	217	424
仕掛品	491	804
原材料及び貯蔵品	705	799
その他	3,606	2,083
貸倒引当金	△14	△14
流動資産合計	75,055	79,470
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	30,246	29,725
機械装置及び運搬具（純額）	26,245	25,920
最終処分場（純額）	20,552	18,952
土地	22,773	22,875
建設仮勘定	19,784	26,262
その他（純額）	2,169	2,077
有形固定資産合計	121,771	125,813
無形固定資産		
のれん	37,047	35,914
その他	460	421
無形固定資産合計	37,508	36,335
投資その他の資産		
投資有価証券	13,913	14,038
退職給付に係る資産	276	301
繰延税金資産	1,236	1,455
その他	11,063	10,743
貸倒引当金	△634	△600
投資その他の資産合計	25,856	25,937
固定資産合計	185,136	188,086
資産合計	260,191	267,557

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （2026年３月31日）	当中間連結会計期間 （2026年９月30日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,117	4,066
短期借入金	80	―
１年内償還予定の社債	510	360
１年内返済予定の長期借入金	18,198	18,278
未払法人税等	4,657	5,154
賞与引当金	1,243	1,623
資産除去債務	305	299
解体撤去引当金	240	―
その他	5,431	4,946
流動負債合計	34,784	34,727
固定負債		
社債	375	245
長期借入金	96,463	100,677
繰延税金負債	5,358	5,054
退職給付に係る負債	502	521
資産除去債務	7,480	7,372
その他	1,162	1,091
固定負債合計	111,343	114,961
負債合計	146,127	149,689
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,907	5,907
資本剰余金	14,035	14,039
利益剰余金	88,353	92,715
自己株式	△161	△61
株主資本合計	108,135	112,600
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,246	1,441
退職給付に係る調整累計額	451	396
その他の包括利益累計額合計	1,697	1,838
非支配株主持分	4,232	3,428
純資産合計	114,064	117,867
負債純資産合計	260,191	267,557

（２）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

（中間連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
売上高	39,976	48,988
売上原価	23,198	28,337
売上総利益	16,778	20,650
販売費及び一般管理費	7,846	9,101
営業利益	8,932	11,548
営業外収益		
受取利息	129	178
受取配当金	52	52
持分法による投資利益	10	44
受取賃貸料	160	168
為替差益	95	1
物品売却収入	98	95
その他	160	127
営業外収益合計	706	667
営業外費用		
支払利息	272	668
株式交付費償却	76	－
賃貸費用	157	149
物品売却費用	85	82
その他	5	13
営業外費用合計	596	913
経常利益	9,042	11,302
特別利益		
固定資産売却益	12	34
投資有価証券売却益	492	601
補助金収入	139	7
特別利益合計	644	643
特別損失		
固定資産売却損	1	3
固定資産除却損	44	87
固定資産圧縮損	137	7
解体撤去引当金繰入額	240	－
その他	－	18
特別損失合計	423	115
税金等調整前中間純利益	9,263	11,830
法人税、住民税及び事業税	3,576	4,956
法人税等調整額	△389	△586
法人税等合計	3,187	4,370
中間純利益	6,076	7,460
非支配株主に帰属する中間純利益又は非支配株主に帰属する中間純損失（△）	△1	252
親会社株主に帰属する中間純利益	6,078	7,208

（中間連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
中間純利益	6,076	7,460
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△97	192
退職給付に係る調整額	△30	△54
持分法適用会社に対する持分相当額	0	2
その他の包括利益合計	△127	140
中間包括利益	5,948	7,600
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	5,950	7,348
非支配株主に係る中間包括利益	△1	252

（３）中間連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自　2025年４月１日 至　2025年９月30日）	当中間連結会計期間 （自　2026年４月１日 至　2026年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	9,263	11,830
減価償却費	3,706	5,597
のれん償却額	312	1,222
株式報酬費用	83	86
持分法による投資損益（△は益）	△10	△44
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2	△34
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△33	△85
賞与引当金の増減額（△は減少）	339	379
解体撤去引当金の増減額（△は減少）	240	△240
受取利息及び受取配当金	△181	△230
支払利息	272	668
為替差損益（△は益）	△95	△2
投資有価証券売却損益（△は益）	△492	△601
固定資産売却損益（△は益）	△11	△30
補助金収入	△139	△7
固定資産除却損	44	87
固定資産圧縮損	137	7
売上債権の増減額（△は増加）	2,273	322
仕入債務の増減額（△は減少）	△363	△76
未払金の増減額（△は減少）	△403	△76
その他	△1,239	680
小計	13,704	19,452
利息及び配当金の受取額	153	324
利息の支払額	△288	△698
法人税等の支払額	△3,171	△4,127
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,397	14,950
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△2	△4
投資有価証券の売却及び償還による収入	875	718
有形固定資産の取得による支出	△5,202	△10,422
有形固定資産の売却による収入	59	48
資産除去債務の履行による支出	△48	△188
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,121	△744
持分法適用関連会社株式の取得による支出	－	△27
補助金の受取額	139	7
その他	△437	△41
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,737	△10,654
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5	－
短期借入金の返済による支出	△261	△80
長期借入れによる収入	18,000	14,000
長期借入金の返済による支出	△7,139	△9,706
社債の償還による支出	△455	△280
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△2,454	△2,848
非支配株主への配当金の支払額	－	△400
その他	△71	△97
財務活動によるキャッシュ・フロー	7,623	587
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2	△3
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	9,281	4,880
現金及び現金同等物の期首残高	52,647	54,440
現金及び現金同等物の中間期末残高	61,929	59,321

（４）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

Ⅰ　前中間連結会計期間（自　2025年４月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他（注）１	合計	調整額（注）３	中間連結損益計算書計上額（注）４
	環境関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	38,812	1,164	39,976	－	39,976
セグメント間の内部売上高又は振替高	47	104	152	△152	－
計	38,859	1,269	40,129	△152	39,976
セグメント利益又は損失（△）	9,134	△162	8,972	△39	8,932

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価資源リサイクル事業及びスポーツ振興事業であります。

２．管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各事業セグメントへ配賦しております。

３．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間の連結調整であります。

４．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

「環境関連事業」セグメントにおいて、肥前環境株式会社他２社の株式を取得し連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの発生額は1,597百万円であります。

（重要な負ののれんの発生益）

該当事項はありません。

Ⅱ　当中間連結会計期間（自　2026年４月１日　至　2026年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント	その他（注）１	合計	調整額（注）３	中間連結損益計算書計上額（注）４
	環境関連事業				
売上高					
外部顧客への売上高	47,530	1,457	48,988	－	48,988
セグメント間の内部売上高又は振替高	41	100	142	△142	－
計	47,572	1,558	49,130	△142	48,988
セグメント利益又は損失（△）	11,626	△43	11,583	△34	11,548

（注）１．「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、有価資源リサイクル事業及びスポーツ振興事業であります。

２．管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各事業セグメントへ配賦しております。

３．セグメント利益又は損失（△）の調整額は、セグメント間の連結調整であります。

４．セグメント利益又は損失（△）は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

重要な変動はありません。

（重要な負ののれんの発生益）

該当事項はありません。